

# 平成 29 年度 中津市社会福祉協議会 事業報告

## ■ 事業報告 概要

### ▶ はじめに

少子高齢化と経済格差の拡大などによる生活困窮等の課題や過疎化による集落機能の低下、家族関係や地域住民同士のつながりが希薄化し、無縁社会が浸透する中、地域においては、引きこもりや孤独死など社会的孤立の問題、高齢者・障がい者の権利擁護や貧困の連鎖による子どもの貧困問題など、地域で支援を必要としている人は増え続けています。

さらに熊本地震や、本市も大きな被害を受けた九州北部豪雨災害、台風 18 号による風水害など、近年多発する自然災害の対応についても、地域ごとの防災意識の醸成や災害時の要配慮者に対する支援のあり方など、引き続き重要な課題となっています。

こうした中、国や大分県では、住民相互の支え合いによる「我が事・丸ごと地域共生社会（孤立ゼロ社会）」の実現に向けた取り組みと併せて、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進められています。

平成 29 年度は、住民生活の多様な課題に対応できる総合相談支援体制の充実や新たな拠点の整備、第 3 次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成 29 年度～平成 33 年度）の実践に向けた支援や、地域を支える人材育成、新たな生活支援の仕組みづくり等を行いました。

さらに、国の介護保険制度改定に伴う介護保険事業等の経営基盤の強化を図るため、新たな取り組みや本会活動の広報、九州北部豪雨災害や台風 18 号災害の被災者への生活復旧のためのボランティア派遣に係る支援を行いました。

### ▶ 平成 29 年度の取り組み概要

#### 重点目標 1 総合相談支援体制基盤の確立

##### 1 多様なケースに対応するワンストップ窓口の充実と他職種との連携強化

生活困窮事業の総合的相談窓口機能を基本に住民にとってわかりやすい相談窓口として、平成 29 年 4 月にスタートし、社協内部の各種相談対応業務の基盤構築を行うべく、相談支援にあたるよう努めました。また、外部との連携として、相談内容に応じて、他の社会福祉法人等、多職種協働による会議を開催し、多様なケースに様々な相談機関が連携してサポートできる体制づくりに積極的に取り組みました。

一方、養護老人ホーム豊寿園が平成 29 年 5 月に新施設へ移転し、地域に根差した相談支援拠点として、広報活動や地域住民等との連携強化を図りました。

## 重点目標 2 福祉サービスの開発と展開

### 1 その人の生活を支える住民型有償サービスの立上げ支援

住民同士の支え合いの取り組みである有償サービスが2地区（本耶馬溪、今津）で立ち上がりました。さらに、新たな2地区（南部、三光）にて活動の必要性を働きかけ、話し合い（座談会・意見交換会・準備会）に参加し、立ち上げに向けての支援を行いました。

### 2 地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けての体制整備

生活支援コーディネーターによる生活支援の担い手の養成やサービス開発を行うと共に、市全体の圏域で地域課題を様々な人で協議する第1層協議体として「生活支援・介護予防を考える会」を開催し、“移動・外出支援”についての協議の場を持ちました。

また、新たに南部地区と山国地区に、生活圏域ごとの地域ニーズ等の把握を行う第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域に寄り添った支援につながる体制づくりを行いました。

さらに地域の実情に沿ったよりきめ細やかな資源開発を目指し、改めて地域を見直す事業として、2地区（南部、山国）で、『地域のお宝探し塾』を開催し、地域の資源整理や発掘、取材を行い、福祉関係機関向けの専門職学習会を開催しました。

### 3 認知症高齢者の支援体制の充実

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族が地域の人や専門職とお互いを理解していただく場（オレンジカフェ、家族介護者の集い）の支援や、山国地区（守実・宇曾・槻木）で、認知症 SOS 声かけ模擬訓練を地域住民の方と行いました。また、三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国の4エリアにおける多職種協働を進める学習会の開催を開始しました。

### 4 住民の権利を継続的にサポートする権利擁護事業の展開

成年後見制度の理解と利用支援に向けたサポートとして、法人後見事業の中で新規受任件数が増え、新たに後見事務を行う支援員（市民後見人候補者）の方々の活動の場が広がりました。あんしんサポートセンター利用者の状況に応じて、成年後見制度への移行支援（市長申立てへのつなぎ等）を行いました。

## 5 障がい者の社会生活の基盤づくりと日常生活支援サービスの展開

在宅で生活する障がい者（児）への訪問入浴車による訪問入浴事業を新たに中津市から受託し、サービスの提供を行いました。

## 6 介護予防サロン等での機能訓練やレクリエーション活動による介護予防推進

地域のサロン等からの要望により、デイサービスの理学療法士等を講師として派遣し、介護予防の推進に努めました。また、新しい介護予防事業の説明等にも取り組みました。

## 7 尊厳を大切にした生きがいづくり活動や地域交流の推進

豊寿園やすらぎ荘においては、地域交流として、夏まつりや餅つき交流会などを通して、地域住民、家族、各種団体、ボランティア等と交流を行いました。

## 8 専門職によるプログラムの充実や、高齢者が自立した日常生活を送れる支援

今までの生きがいデイサービスが、介護保険制度による緩和型デイサービスへと移行し、さらに介護予防に向けて内容を強化する中で、いずみの園の理学療法士による機能訓練の教室の実施、また、内部職員の資格を活かしての中津歯科医師会との連携による口腔機能向上教室や、管理栄養士による栄養教室を実施しました。また、高齢者の低栄養・重症化予防等の推進事業スタッフ研修に職員の管理栄養士を派遣し、専門的な知識の習得に努めました。

### 重点目標3

### “生きがい”につながる福祉活動とボランティア活動

#### 1 寄り合いの場（サロン）活動の充実、強化

誰もが気軽に寄り合える場として、寄り合いの場活動へ参加し、高齢化により運営困難なサロンの継続や新規サロンの立上げに向けて支援を行いました（新規 3件）。また、サロン同士の横のつながりづくりの支援としての合同研修会の開催や活動の継続に役立つ助成金の活用などを働きかけました。

## 2 特技や能力を地域活動で発揮できる取組みの推進

豊寿園入所者による生け花を道の駅で展示し、除草作業、地域イベントへの積極的な参加を行い、道の駅との協働により入所者の手づくり品を販売し、その益金を社会貢献活動（生活困窮者支援）に転換する活動を行いました。

## 3 ボランティア人材の発掘につながる企画の充実

運営委員会を開催し、運営状況や年間スケジュール、事業内容の協議を行い、委員の意見をもとに、ボランティア講座企画につなげました。

### 重点目標 4 地域福祉ネットワークの実現

#### 1 地域の課題解決に向けてつなげられる地域の人材（リーダー）づくり

様々な事業を活用することで地域での柔軟な支援体制につながる各種講座を開催し、地域の人材づくりに努めました。（地域福祉講座、市民後見人候補者フォローアップ研修、地域福祉スキルアップ養成講座、支え合いスタッフ養成講座、有償サービスマネージャー研修、福祉人材バンクあんさんくフォローアップ研修 等）

#### 2 第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践に向けた支援

計画年度（平成29年度～平成33年度）に入り、各15地区で策定された地域福祉活動計画の実践に向けた地域住民向けの研修会を開催しました。また、年度後半には、実践内容や進捗状況の確認会議を開催しました。

#### 3 地域福祉ネットワーク協議会の立ち上げ支援

新規に小楠地区において、地区内の福祉活動等について話し合う地域福祉ネットワーク協議会が立ち上がりました。また、三光地区においても、ネットワーク協議会の準備会を立ち上げて、設立に向けた支援を行いました。

#### 4 ネットワークにつながる見守り活動の推進

耶馬溪地区において、地域住民の見守り活動を更に広げ、企業や団体の協力も得られるよう、企業や行政機関も含めて、訪問活動を実施する関係者との見守りネットワークの拡大に向けた話し合いをネットワークメンバーと共に行いました。

#### 5 被災者支援ネットワークの強化

市内の事業所や関係機関とで構成する被災者支援ネットワークの協力関係から、7

月の豪雨災害時に情報共有や協力などが円滑に実施され関係強化につながりました。

## 6 地域の活動や資源に関する情報収集・発信の充実

地域における活動や資源をより多くの地域住民に知らせるため、山国・南部地区で「地域のお宝ガイド」を作成し、配布しました。

### 重点項目5 効果的・効率的な経営基盤（組織・人財・財政）の確立

#### 1 社協内の災害時初動マニュアルの作成と体系化

主に山間地域における社協の災害時初動体制の構築に向けた連絡網づくりや訓練、災害時のBCP（事業継続計画）研修へ参加しました。

#### 2 職員の研修体系の確立

職制別の研修会（管理職・中間管理職・一般職員等）の定期的な開催や全職員対象の全体職員研修会を開催し、社会福祉協議会職員としての意識醸成に努めました。

#### 3 自主財源確保のための取り組み

介護サービス向上に向けた取り組みの介護保険事業所加算を取得するための職員体制の整備や特別養護老人ホームの入所対策として、居宅介護支援事業所との連携会議を開催しました。また、本会の事業や活動への理解を深めるため、広報活動として、本会ホームページ上にフェイスブックページを新設し、災害支援の状況や講座やイベントなどの情報を即時配信することで、本会の活動をわかりやすく伝えました。また、ケーブルテレビの積極的な活用や平成29年度版の中津市社協のパンフレットの作成を行いました。

#### 4 地域に密着した地域福祉事業方針と収支管理体制とが一体となった経営体制の確立

事業の基盤強化を図るため、役員及び管理職による経営会議を開催し、収支管理状況の分析や今後の事業経営方針について協議を行いました。

## **重点項目外**

### **1 被災者支援のための対応**

平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害により、被災した主に山国地区と耶馬溪地区の世帯へ訪問によるニーズ把握を行い、保健所や建築士会等の専門機関と協力しながら、被災者を支援するボランティアコーディネートを行い、生活復旧に努めました。また、地域復興支援として田畑の水路の土砂撤去を行うボランティアを募集し、市役所と連携して支援を行いました。

7 月 29 日からは、日田市社協災害ボランティアセンター運営支援に職員派遣を行い（延べ 34 名）、主に本部や大鶴サテライトでのセンター運営支援、ニーズ調査にあたりました。

また、平成 29 年 9 月の台風 18 号で被災した津久見市社協が運営する災害ボランティアセンターの運営支援に継続して職員を派遣（延べ 108 名）し、臼杵市社協にはスコップや一輪車などの支援物品の貸し出しを行いました。

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催しました。  
提案された議案については、原案どおりすべて承認されました。

1) 理事会

- 第1回 平成29年 4月 1日 (土) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室A B  
出席 11名 欠席 6名 監事出席 2名  
議第1号 会長の選任について  
議第2号 評議員候補者の選任について
- 第2回 平成29年 5月31日 (水) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 13名 欠席 4名 監事出席 2名  
議第1号 平成28年度事業報告について  
議第2号 平成28年度決算報告について  
監査報告  
議第3号 平成29年度第1次補正予算(案)について  
議第4号 評議員選任候補者の推薦について  
議第5号 評議員会の招集について  
議第6号 理事、監事の選任について  
議第7号 諸規程の制定について
- 第3回 平成29年6月28日 (水) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 11名 欠席 6名 監事出席 2名  
議第1号 会長、副会長及び常務理事の選任について  
議第2号 評議員候補者の選任について
- 第4回 平成29年12月18日 (月) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 13名 欠席 4名 監事出席 2名  
第1号議案 平成29年度第2次補正予算について  
第2号議案 規則の変更について  
第3号議案 評議員会の招集について  
報告事項 職務執行状況報告について
- 第5回 平成30年 3月16日 (金) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室A B  
出席 14名 欠席 3名 監事出席 1名  
第1号議案 平成29年度第3次補正予算について  
第2号議案 平成30年度事業計画について  
第3号議案 平成30年度当初予算について  
第4号議案 定款の変更について  
第5号議案 規程の変更について  
第6号議案 評議員会の招集について  
報告事項 職務執行状況報告について

2) 評議員会

- 第1回 平成29年 6月27日 (火) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 23名 欠席 10名 監事出席 2名  
議第1号 平成28年度事業報告について  
議第2号 平成28年度決算報告について  
監査報告  
議第3号 平成29年度第1次補正予算(案)について  
議第4号 定款の一部変更について  
議第5号 理事17名及び監事2名の選任について  
議第6号 諸規程の制定について
- 第2回 平成30年 1月 9日 (火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 22名 欠席 10名 監事出席 2名  
第1号議案 平成29年度第2次補正予算について
- 第3回 平成30年 3月27日 (火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール  
出席 29名 欠席 3名 監事出席 2名  
第1号議案 平成29年度第3次補正予算について  
第2号議案 平成30年度事業計画について

第3号議案 平成30年度当初予算について  
第4号議案 定款の変更について

### 3) 監査会

平成29年5月19日(金) 9時00分 中津市教育福祉センター 中会議室A B  
結果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

## 2. 会費、寄付金及び共同募金

社会福祉協議会の事業運営にあたり、社協会費、寄附金及び募金収入の概要は次のとおりです。

### 1) 会費(会員)

一般会費 4,630口 4,630,000円  
特別会費 104口 520,000円  
合計 4,734口 5,150,000円

地区	一般会費		特別会費	
	口数	金額	口数	金額
中津	—	—	104口	520,000円
三光	1,480口	1,480,000円	0口	0円
本耶馬溪	981口	981,000円	0口	0円
耶馬溪	1,326口	1,326,000円	0口	0円
山国	843口	843,000円	0口	0円
計	4,630口	4,630,000円	104口	520,000円

### 2) 寄付金

香典返し 239件 7,790,000円  
一般寄附 62件 1,128,673円  
合計 301件 8,918,673円

地区	香典返し		一般寄附	
	件数	金額	件数	金額
中津	117件	3,710,000円	48件	766,856円
三光	33件	895,000円	0件	0円
本耶馬溪	21件	500,000円	5件	68,836円
耶馬溪	40件	1,655,000円	7件	235,000円
山国	28件	1,030,000円	2件	57,981円
計	239件	7,790,000円	62件	1,128,673円

### 3) 物品寄付

ギフトカード 1 件 18,300円  
車椅子 1 台 19,300円  
電動ベッド一式 4 台 520,500円  
楽器一式 1 式 103,650円  
歯ブラシ 1,000 本 100,000円  
タオル 17 枚 3,400円  
切手 12 枚 338円  
屋外用虫除け器 16 セット 151,360円  
米 150 kg 37,000円  
お盆 5 枚 25,000円

物品寄付額(相当額) 978,848円

#### 4) 中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金	20,282件	8,667,274円
歳末たすけあい募金	20,874件	6,096,382円
合計	41,156件	14,763,656円

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	20,276件	8,479,285円	20,276件	3,668,485円
街頭募金			3件	55,828円
法人募金			556件	2,150,463円
職域募金	1件	149,331円		
イベント募金				
その他募金	4件	38,657円	39件	221,606円
預金利息	1件	1円		
計	20,282件	8,667,274円	20,874件	6,096,382円

[戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	15,679件	6,548,325円	15,679件	2,842,285円
三光	1,496件	627,900円	1,496件	269,280円
本耶馬溪	1,003件	421,120円	1,003件	180,480円
耶馬溪	1,279件	538,380円	1,279件	229,020円
山国	819件	343,560円	819件	147,420円
計	20,276件	8,479,285円	20,276件	3,668,485円

- ・大分グルメ散歩募金（大分県共同募金事業）106,270円売上げ、19,966円を募金協力として頂きました。
- ・期間外募金53,293円（戸別募金：17,400円、自動販売機手数料：35,885円、銀行利息：8円）につきましては、30年度計上。

#### 5) 中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）

平成28年熊本地震義援金	4,575円
大雨等被害による災害義援金(福岡県)	8,228円
大分県豪雨災害義援金	125,931円
秋田県大雨災害義援金	338円
台風18号大分県災害義援金	33,802円
台風21号三重県災害義援金	2,308円
和歌山県平成29年台風第21号災害義援金	2,308円
合計	177,490円

### 3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

#### 1) 寄り合いの場支援

交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている住民主体の寄り合いの場活動として支援。  
(全地域で支援を行っています。)

中津市全体	89カ所	寄り合いの場の種類・新規内訳
地域サロン	5カ所	地域の中の民家や空き家等を活用し、開催回数も週単位で、日常生活に密着した活動
ミニデイサービス	7カ所	小・中学校の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	77カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、住民同士の交流の場として実施

- ・内、新規3カ所（和田）諸田竹林元気クラブ（耶馬溪）柿坂サロン「なごみ」（山国）平小野コロナサロン

## 2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

No.	校区地区	組織名称 (校区ネット)	発足年月日	定例会	事務局会議等	平成29年度の主な動き	以前より継続している動き
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	平成18年10月 ↓ 平成24年4月	3カ月に1回	随時 (部会は運営委員会のない月に開催)	・ネットワーク協議会の運営形態の再編 (運営委員会と各部会制へ) ・住民型有償サービス準備会への協力、支援 ・週一体操教室の取り組み ・小楠ネットワーク協議会での活動紹介	・情報紙の発行 (年3回) ・サロンの支援 ・ネットワーク総会、研修会
2	北部	(未定)	-	-	-	・地区防災訓練実施 ・週一体操教室の取り組み	・寄り合いの場、協議体のあり方を検討
3	小楠	小楠校区地域福祉ネットワーク協議会「OGUSU友愛 2017」	平成29年12月	3カ月に1回	毎月1回	・第3次計画作業部会をベースに組織づくりに向けた準備会を発足 ・ネットワーク協議会の発会 (12/19)	・計画作業部会員有志をベースとしたネットワーク立ち上げについて検討
4	豊田	「生き生き・豊田」	平成22年12月	随時	随時	・豊田カフェ (2回開催: 世代間交流他) ・週一体操教室の取り組み	・ネットワーク総会 ・校区内を6地区の合議体として必要な活動への取り組み ・ふるたさん家立ち上げ (支援)
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会 (事務局: あいがも)	平成18年9月	随時	第4水曜日	・地域福祉研修会開催「防災学習」 (10/3: 参加者 約50名) ・地域サロンすすめの家が多機能的な活用に向けた「よりあ」への参加・支援	・情報紙の発行 (年3回) ・ネットワーク総会、研修会 ・事務局拠点あいがも (コミュニティセンター内) ・フェイスブック更新
6	鶴居	鶴居校区地域福祉ネットワーク協議会	平成26年4月	随時	随時	・悠久の郷周辺地区防災訓練 ・週一体操教室の取り組み ・サロン活動支援	・ネットワーク総会、研修会 ・新規サロン立ち上げ支援 ・見守り活動の組織化についての検討
7	大幡	大幡福祉の会“輪”	平成20年1月	月1回	随時	・実践目標の推進に向けた自治委員との意見交換会 (1/23: 参加者 23名) ・地域福祉研修会開催 (2/27: 参加者 約70名) ・地域福祉情報紙の発行	・月1回の定例会により、地域福祉活動計画の推進を図る ・地域福祉研修会の開催 ・社会資源リスト全戸配布 ・災害時要援護者マップの更新 ・支え合いの大切さを地域に伝えるため、支え合い広報誌を自治委員の総会時に配布
8	如水	如水ふれ愛の会	平成19年2月	-	-	・第3次計画作業部会をベースに組織の見直し検討	・如水サロンふれ愛の支援
9	三保	(未定)	-	-	-	・週一体操教室の取り組み ・サロン活動の取り組み	・H23.4以降、地域福祉活動計画作業部会で検討
10	和田	(未定)	-	-	-	・活動計画推進会議にて今後のネットワークづくりの検討 ・田尻地区防災訓練 (8/20: 参加者 約60名)	・作業部会員有志で「和田地区地域福祉部会 (仮称)」発足 * 偶数月で開催 ・田尻地区いきいきサロン支援
11	今津	福祉の郷「いまづ」	平成21年1月	-	-	・いきいき今津まちづくり協議会と福祉の郷「いまづ」のあり方についての検討 ・住民型有償サービス「すみれ」発足	・防災をテーマにした地域づくり ・視察の受入 ・災害対策、自主防災組織についての研修
12	三光	(ふくしの里“やま” : 準備中)	-	-	随時	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネットワーク会議 (合同会議含む: 年2回) ・ネットワーク協議会の準備会の実施 ・住民型有償サービスの準備会の実施	・15地区でのサロン活動 ・小地域ネット会議 (年2回) ・ネットワークの準備として事務局体制づくり
13	本耶馬溪	(ふれ愛ネットワーク推進委員会)	-	-	-	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・ふれ愛ネットワーク研修会 ・ネットワーク協議会立上げに向けての話し合い ・住民型有償サービス「ひまわり」発足	・17地区単位での見守り活動、交流活動 ・各地区で防災訓練実施
14	耶馬溪	耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会	平成23年5月	随時	随時	・津久見市での災害ボランティア活動 ・代議員会 (1/31) ・各地区防災訓練 ・薬剤師会、保健所と連携 (山移) ・学校、関係団体、企業との連携に向けた、見守りネットワーク拡大会議 (3/23)	・12地区単位で見守り活動、代表の情報交換会、研修会実施 ・会長・事務局会議 ・防災活動講師派遣
15	山国	源流の郷やまくに福祉の会	平成22年10月	随時	随時	・住民型有償サービス「つゆくさ」支援 ・定例会の開催 (7/10) ・第3次地域福祉活動計画 山国地区推進会議参加支援	・4地区単位を基本に活動を展開 ・H23.4への溝部地区寄り合いの場“たいしょう陣”開催 ・買い物支援事業への理解 ・ネットワーク会議

※他の地区でも地域福祉推進活動は進んでいます。社協は地域福祉推進活動や協議会の支援を行っています。

### 3) 災害にも強い地域づくり活動支援

『災害にも強い地域づくり』を目指し、地震による災害を想定した発生対応型訓練を実施することにより、住民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と防災行動力の向上と安否確認機能（見守り体制の強化）を図ることを目的。

実施地区	実施内容	期日	参加者数
耶馬溪金吉	防災訓練・教室	平成29年8月18日	15名
耶馬溪金吉	防災訓練・教室	平成29年9月27日	15名
耶馬溪城井（下戸原）	防災訓練	平成29年10月14日	20名
耶馬溪深耶馬（小柿山・大城・岩屋）	防災訓練	平成29年10月18日	20名
耶馬溪津民	防災訓練	平成29年11月19日	70名
三光山口地区	防災訓練	平成30年2月25日	119名
耶馬溪深耶馬	防災訓練	平成30年3月11日	60名
本耶馬溪町跡田1区	防災訓練（避難誘導訓練）	平成30年3月11日	90名
耶馬溪下郷（大島上/台地区）	防災訓練	平成30年3月18日	30名

### 4) 各種団体等助成金交付事業

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成金の交付を行う事業

区分	件数	助成額	助成内容
住民型有償サービス活動助成	5件	600,000円	住民主体の在宅福祉サービス（家事援助・身体介護等）団体への活動助成
小地域福祉活動助成	29件	2,109,900円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成（市）	7件	501,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成（歳末）	7件	275,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成
ボランティア活動助成	49件	1,455,000円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
寄り合いの場活動助成	91件	3,624,000円	地域の寄り合いの場（地域サロン等）への活動助成（内県事業：450,000円）
一般公募助成	4件	625,000円	高齢者・障がい者（児）・子ども・防災など事業への助成（1団体上限30万円）
公民館助成	14件	210,000円	校区（地区）公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成	15件	1,031,362円	共同募金（企業募金）実績に基づき助成
自治委員活動助成	15件	1,858,248円	共同募金と歳末たすけあい募金（戸別）実績に基づき助成
ボランティア推進校助成	11件	330,000円	小中高等学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
合計	247件	12,619,510円	

## 4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

### 1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービス及び訪問入浴サービスを実施。

#### ①身体障がい者居宅介護事業

実利用者数	7名	延利用回数	654回	延活動時間数	834.75
本耶馬溪	4名	本耶馬溪	257	本耶馬溪	380.75
耶馬溪	3名	耶馬溪	397	耶馬溪	454時間

#### ②知的障がい者居宅介護事業

実利用者数	1名	延利用回数	131	延活動時間数	131時間
耶馬溪	1名	耶馬溪	131	耶馬溪	131時間

#### ③精神障がい者居宅介護事業

実利用者数	2名	延利用回数	199	延活動時間数	206時間
本耶馬溪	1名	本耶馬溪	154	本耶馬溪	154時間
耶馬溪	1名	耶馬溪	45	耶馬溪	51.5

#### ④同行援護事業

実利用者数	11名	延利用回数	325	延活動時間数	394.5
本耶馬溪	8名	本耶馬溪	161	本耶馬溪	213時間
耶馬溪	3名	耶馬溪	164	耶馬溪	181.5

#### ⑤障がい児・者訪問入浴サービス事業（中津市内で一事業所のみ）

実利用者数	1名	延利用回数	34回
-------	----	-------	-----

## 2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス。

実利用者数	3名	延利用回数	76回	延活動時間数	189時間
本耶馬溪	3名	本耶馬溪	76回	本耶馬溪	189時間

## 3) 障がい児長期休暇支援事業(さんぽ)

市の受託事業として、障がい児の健全育成、夏休みの長期休暇時の預かりにる家族の介護負担の軽減と市民の障がい児への理解と人材育成を目的とした事業(市受託事業)。

- ・延利用者数 67名
- ・延ボランティア数 96名

開催日数	16日
利用者数	15名
ボランティア	85名
スタッフ会議開催	2回

## 4) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業(市受託事業)。

- ・延利用者数 117名 内 きょうだい児32名
- ・延ボランティア数 11名

開催回数	11日	
実利用者数	24名	(きょうだい児 6名)
実ボランティア	4名	

## 5) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

### 【電動ベッド】

- ・貸出総数 175台
- ・保有台数 185台

#### 新規

中津	13件
三光	7件
本耶馬溪	2件
耶馬溪	8件
山国	7件
計	37件

### 【車椅子】

- ・貸出総数 116台
- ・保有台数 159台

#### 新規

中津	107件
三光	6件
本耶馬溪	1件
耶馬溪	8件
山国	6件
計	128件

H30. 3. 31現在

## 6) 見守りふれあい事業

各種団体や小中学校と連携し、一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等に対して、はがきや配食を通じて交流をおこなっています。

### (1) ふれあい郵便事業

対象世帯数 364世帯 発送部数 1,128通

耶馬溪	230世帯	耶馬溪	460通	(年2回)
山国	134世帯	山国	668通	(年5回)

### (2) ふれあい配食事業

対象世帯数 332世帯 配食数 598食

本耶馬溪	217世帯	本耶馬溪	254食	(年1回)
山国	115世帯	山国	344食	(年3回)

## 7) 介護保険事業

### ①介護老人福祉施設事業(中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘)

「常によりよい介護サービス・福祉サービスの提供を！」をモットーに、65歳以上で身体や精神上的の障がいのため常に介護が必要で、在宅での介護が困難な人が対象の事業となります。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアなどを受けながら有意義な日々を送っていただいております。

(本入所)・・・定員 80名

サービス実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数	79名	80名	81名	81名	80名	80名	81名	81名	80名	81名	80名	80名	93名
	延べ人数	2,212名	2,420名	2,313名	2,399名	2,385名	2,257名	2,314名	2,271名	2,369名	2,411名	2,177名	2,414名	27,942名

②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために定期的に利用することができます。食事や入浴、排泄など日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどが受けられます。

（短期入所）・・・定員 20名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		22名	25名	25名	27名	27名	23名	28名	28名	28名	23名	23名	26名
延べ人数		316名	349名	375名	411名	455名	435名	394名	371名	461名	339名	326名	366名	4,598名

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数 110名 延利用回数 9,729回 延訪問時間 6,821時間

本耶馬溪	28名	本耶馬溪	3,754回	本耶馬溪	3,266時間
耶馬溪	82名	耶馬溪	5,975回	耶馬溪	3,555時間

④訪問型サービスA

サービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数 29名 延利用回数 994回 延訪問時間 4,009時間

本耶馬溪	14名	本耶馬溪	529回	本耶馬溪	1,022時間
耶馬溪	15名	耶馬溪	465回	耶馬溪	2,987時間

⑤通所介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、デイサービスを実施。

（通常型）開設日数 1,213日 日/年 実利用者数 385名 延利用人数 24,599名

三光	305日	三光	52名	三光	4,477名
本耶馬溪	305日	本耶馬溪	101名	本耶馬溪	5,828名
耶馬溪	301日	耶馬溪	128名	耶馬溪	7,024名
山国	302日	山国	104名	山国	7,270名

⑥通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ）

サービス利用が必要な事業対象者に対して、デイサービスを実施。

（緩和型）開設日数 596日 日/年 実利用者数 116名 延利用人数 3,799名

三光	249日	三光	36名	三光	1,346名
耶馬溪	249日	耶馬溪	55名	耶馬溪	1,848名
山国	98日	山国	25名	山国	605名

⑦訪問入浴介護事業

要支援者に対して、訪問入浴サービスを実施。（中津市内で一事業所のみ）

実利用者数 17名 延利用回数 500回

⑧居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 4,118件 件/年

本耶馬溪	1,651件
耶馬溪	1,146件
山国	1,321件

8)高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

入居者数（ショート利用者）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本耶馬溪生活支援ハウス	10名	10名	10名	10名	10名	11名	11名	11名(1名)	10名	10名	10名	11名
耶馬溪生活支援ホーム	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名
山国生活支援ハウス	17名	17名	17名(1名)	17名(3名)	17名(1名)	17名	17名(1名)	17名(1名)	17名	19名	18名	18名

**9) 老人福祉施設養護老人ホーム運営事業**

老人福祉施設事業（養護老人ホーム中津市豊寿園）

本施設は、平成26年10月1日より指定管理者制度により中津市から運営を受託しています。経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設です。地域福祉を推進する社会福祉協議会として、地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進しています。

年間 在所 状況	月													計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	
入所者実数	39名	39名	39名	42名	44名	44名	48名	51名	51名	51名	53名	53名				
延べ人数	1,085名	1,086名	1,122名	1,240名	1,278名	1,313名	1,410名	1,470名	1,550名	1,546名	1,418名	1,622名	16,140名			
年間 異動 状況	新規	他施設				1名			2名						3名	
		医療機関											1名		1名	
		在宅	1名	1名	4名	2名	3名	1名	2名	3名			2名		19名	
	退所	社会復帰	1名	1名												2名
		医療機関											1名			1名
		他施設		1名		1名	1名									3名
		死亡		2名												2名
	入退院	入院	1名						1名	2名					2名	6名
		退院	2名						1名	1名				1名		5名

**10) 地域包括支援センター事業**

市内5つの包括支援センターのひとつ「地域包括支援センター社協」。三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国の4地区に事業拠点を配置。

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数	2,958件
------	--------

② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数	307件
------	------

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・ 包括的・継続的なケア体制の構築	71回		
・ 地域における介護支援専門員のネットワークの活用	35回		
・ 日常的個別指導・相談	51回		
・ 支援困難事例等への指導・助言	17回	合計	174回

(2) 介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○ 介護予防教室の開催

- ・ 実施回数 1回
- ・ 延利用者数 80名

○ 介護予防の講演会・相談会

- ・ 実施回数 9回
- ・ 延利用者数 180名

○ 住民の自主的な活動の場の立ち上げ支援についての活動

- ・ 実施回数 32回
- ・ 関わった組織 3名

(3) 介護予防支援業務

要支援1.2の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	238件	210件	229件	217件	206件	155件	161件	219件	261件	253件	206件	224件	2,579件
作成件数	140件	144件	146件	147件	152件	148件	149件	149件	153件	147件	128件	145件	1,748件

介護予防・日常生活総合支援事業の方に対するサービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	369件	400件	332件	457件	378件	368件	342件	352件	311件	333件	310件	369件	4,321件
作成件数	216件	214件	213件	212件	207件	209件	204件	207件	200件	190件	190件	194件	2,456件

(4) 孤立ゼロ事業

28年度からの事業。福祉サービスにつながらず、地域でも孤立している高齢者の現状を把握し、訪問活動により孤立を防ぐ事業

	三光	本耶	耶馬	山国	合計
対象者数	20名	18名	8名	0名	46名

(5) 各種調査業務

① 「食」の自立支援事業実態調査	調査件数	36件
② 住宅改修理由書作成		19件
③ 生きがい活動支援通所事業実態調査及び相談		なし
④ 軽度生活援助員派遣事業実態調査及び相談		なし
⑤ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談		22件
⑥ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談		2件

1 1) 合併周辺地域総合相談支援センター事業

合併周辺地域総合相談支援センターとして、本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う。

相談件数	358件												
<table border="1"> <tr> <td>障がい者</td> <td>358件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>なし</td> </tr> </table>	障がい者	358件	その他	なし									
障がい者	358件												
その他	なし												
障がい者の障がい別 内訳	358件												
<table border="1"> <tr> <td>身体障がい</td> <td>133件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>142件</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障がい</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>55件</td> </tr> </table>	身体障がい	133件	知的障がい	26件	精神障がい	142件	高次脳機能障がい	2件	発達障がい	0件	その他	55件	
身体障がい	133件												
知的障がい	26件												
精神障がい	142件												
高次脳機能障がい	2件												
発達障がい	0件												
その他	55件												

1 2) 認知症地域支援推進事業

平成27年度からの委託事業。地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

(1) 人員配置

- ・ 認知症地域支援推進員 1名
- ・ 嘱託医 1名

(2) 会議・研修会参加

項目	回数	内容
認知症地域支援推進員等連絡会議	3回	大分県主催の会議。大分県の認知症施策の説明、推進員の活動、認知症サポート医との連携、若年性コーディネーターとの連携などについて
その他の会議・研修	8回	初期集中支援チーム員会議

(3) 各種取り組み

① 徘徊模擬訓練

項目	回数	内容
実行委員会会議	4回	山国地区内の地域住民・警察・消防団・小学校・行政との実行委員会を組織し、当日までの準備と終了後の振り返りを行なう
SOS声かけ模擬訓練	1回	11月3日(日)山国地区の3エリア(守実・宇曾・槻木)を対象に、認知症を正しく理解し適切な声かけをする訓練。参加者数140名。

② オレンジカフェ

- ・ 認知症患者、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
開催場所数	1カ所	2カ所	2カ所	1カ所	6カ所
開催回数	4回	4回	4回	3回	15回

③ 認知症家族介護者の集い

- 認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。

地区	三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国	4地区合同
開催回数	年2回	

④ 個別相談対応

- 個別訪問、家族との話し合い、医療機関へのつなぎ、福祉サービスへのつなぎ 等

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
対応件数	2件	0件	0件	0件	2件

⑤普及啓発活動

・広く住民に対する理解促進

項目	回数	内容
認知症講演会	1回	9/10『認知症になっても最後まで住み慣れた町で生き生きと暮らせる山国町を日指して』 講師：介護老人保健施設健寿荘 施設長 増井 玲子氏 参加者：96名
認知症サポーター養成講座	6回	三光児童館、山国児童館、イオン三光、三郷小学校に出向き、認知症についての講座を実施。

⑥認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

開催地区	三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国地区合同
開催場所	2カ所（本耶馬溪、耶馬溪）
開催回数	年4回
参加対象者	医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等174名の参加

13) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請のほとんどが緊急小口資金という現状。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	10	2	2	630,000円
	住居入居費	0	0	0	0円
	一時生活再建費	0	0	0	0円
福祉資金	福祉費	22	0	0	0円
	緊急小口資金	285	70	69	7,565,000円
教育支援資金	教育支援費	6	0	0	0円
	就学支度費	5	0	0	0円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	2	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0円
合計		331	72	71	8,195,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

14) 総合相談支援事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

「生活困窮」の要因をさまざまな視点からとらえ、生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を持つ。

①相談支援実績

実相談者数 296件

月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17件	36件	19件	25件	28件	28件	27件	21件	23件	22件	23件	27件	296件

相談種別 ※平成29年度の種別内訳。重複あり

病気、健康、障がい	住まい	収入・生活費	家賃・ローンの支払	税金や公共料金等の支払	債務	仕事探し、就職	仕事上の不安やトラブル	地域との関係	家族・人間関係
58件	26件	156件	26件	25件	8件	47件	13件	13件	20件

子育て	介護	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べる物がない	生活支援	権利擁護	その他	合計
17件	16件	14件	7件	24件	17件	36件	57件	580件

※その他については、他機関との連携や不安の訴え等

②一時生活支援事業

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給付）

事業実施者数	4名
--------	----

③食糧支援

食料がない方への緊急的な食糧支援（米、インスタント食品等）

延べ回数	65回
実人数	35名

④備品貸出し

日常生活に必要な備品（カセットコンロ、炊飯器、電気ケトル、自転車等）の一時貸出し

延べ回数	65回
------	-----

③会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
福助ネット会議	12回	毎月1回開催。経済的困窮のみならず、複合的な課題を抱える生活困窮者を幅広く支援する為、『生活困窮自立支援制度』に係る機関と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るCSWと連携し、相談者に対する効果的な支援を行うため、定期的な連携会議を開催。
ハローワークとの連携会議	1回	生活困窮者の就労問題について意見交換を行い、就労先紹介、情報共有等を行う。また、ハローワークと協働し、生活困窮者の発掘と就労による自立支援を図る。
はろかふえ (おしごと相談会)	1回	ハローワークとジョブカフェの専門職にも参加してもらい、就労に不安や問題を抱えている方、就職活動が上手くいかない方に対して、気軽に来れるカフェのような雰囲気の間所づくりをし、就労支援の一方法として開催。
生活困窮者等就労体験	1回	就労に不安や問題を抱えている方を対象として、みんなのふくしまつりのイベントの場を活用し、ジュースや食べ物の販売を自立相談員と一緒に進行。就労への体験を行うことで幅広い視野をもってもらうことを目的とする。本人の可能性という部分と選択肢が広がるよう経験という部分で就労体験となる。
居場所づくり研修会	1回	子ども食堂に携わる人に、多様な居場所づくりの研修に参加してもらい、他の居場所づくりの実情や活動者との交流を通して、子ども食堂への視野を広げる機会とする研修を開催

(2)心のケア事業(ほっとテラス)

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

担当	相談形式	担当月	実績	
			相談開設回数	相談者数
橋本 眞子医師 (精神科医)	毎月第2水曜 午後2:00~4:00 原則 2名まで	奇数月	3回	4名
松尾 浩氏 (心理カウンセラー)		偶数月	1回	2名

15)福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートセンター中津)

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・相談支援対応件数 4,814件

内訳

- ・初回相談受付・問い合わせ対応
- ・契約締結までの間の訪問、支援計画の作成、連絡調整
- ・利用開始後の相談対応
- ・その他、総合的な相談対応等

・新規契約 30件 ・解約者 20件

契約者数(3/31現在) 82名

内訳	居住エリア別		居住状況別		世帯経済状況別		年齢別		障がい種別	
	中津	57名	在宅	35名	生活保護	31名	65歳以上	53名	認知症	40名
	三光	7名								
	本耶馬溪	5名	病院	8名	課税	4名	39歳未満	5名	精神障がい	11名
	耶馬溪	4名								
	山国	5名								
	その他※	4名								

※…契約している方が日田・宇佐・豊前の施設等に一時的に入所・入院

・生活支援員登録数 15名

16)成年後見事業

(1)市民後見推進事業

市より受託し、今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進

①会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	3回	関係機関や専門家の方々による事業推進の協議会を発足し会議を開催。 (3回:5月17日、9月1日、3月13日)
市民後見推進研修会	2回	地域住民に対し、身近な老後の問題などを通して成年後見制度や市民後見推進事業に対する理解と関わりを深めていただくことを目的として開催。(8月27日、2月4日)

②市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人を対象に研修を開催。登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

研修種別	回数	内容
講義	4回	6/20：日常生活自立支援事業について、8/27：市民後見推進研修会（悪徳商法について）、10/17：精神障がいの理解について、2/4：市民後見推進研修会（生前整理・遺品整理について）
実務	4回	5/20：実践報告、9/30：現役後見人の活動を知る（視察研修）、11/7, 10, 14：施設実習、2/26：事例検討

(2) 法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上監護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。

事業項目	件数	内容
新規受任者数	6件	市長申立による受任6件。
後見業務	12件	累計受任数12件の事務。 年度途中で被後見人1名が亡くなり、3/31現在11件の事務を行なっている
申立て支援	なし	親族による申立てで、書類作成、家裁との調整等申立て事務をサポート。
法人後見支援員登録者数	15名	平成29年度市民後見人候補登録者29名のうち、15名が登録。
後見業務に携わる支援員数	10名	法人後見支援員15名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。
受任調整委員会の実施	3回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する事案について協議。

17) 介護保険要介護認定調査事業

被保険者からの要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅もしくは施設へ訪問し、対象の方の心身の状況などを調査する業務  
調査件数 3,099 件/年

18) 放課後児童クラブ事業

就労等により昼間保護者のいない小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。

年間実施日数	1,449日開設	登録児童人数	119名	延利用児童人数	16,757名
真坂	291日	真坂	33名	真坂	4,457名
山口	291日	山口	26名	山口	3,725名
秣	289日	秣	25名	秣	4,648名
樋田	290日	樋田	27名	樋田	2,424名
城井	288日	城井	8名	城井	1,503名

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) みんなのふくしまつり開催事業

市内の子どもから高齢者まで楽しみ、地域に身近なボランティア市民活動や地域のさまざまな活動に触れ、世代や障がいを超えた市民の参加と交流（つながり）を目的として「第9回 みんなの”ふくしまつり”」を実行委員会形式で開催。

[実施日時] 平成29年11月12日（日）午前10時から午後2時まで

[参加者数] 約900名（一般参加者 800名＋ボランティア等関係者 100名）

[企画検討会議開催数] 関係者及び出店者等の企画検討会議を計6回開催。

- [内 容] 1、アトラクション 4 団体  
2、バザー・屋台コーナー 22 団体  
3、参加体験・見るコーナー 12 ブース  
4、その他（抽選会、共同募金受付、メッセージボード等）

2) 住民参加型有償サービス事業（社協型）

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施しました。

社協運営登録者数

協力会員	7名	利用会員	12名	延利用回数	197回	延利用時間	146時間
三光	4名	三光	9名	三光	186回	三光	132時間
本耶馬溪	3名	本耶馬溪	3名	本耶馬溪	11回	本耶馬溪	15時間

### 3) 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいがづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。

#### (1) 生活支援コーディネート業務

第1層生活支援コーディネーター1名、第2層生活支援コーディネーター2名（南部・山国）を配置し、地域の状況に応じた地域包括ケアシステムの構築を図る

実施事業	活動項目	詳細内容
地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起	地域の高齢者の実態を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握と聴き取り（88回）</li> <li>・元気！いきいき☆週一体操への参加による実態把握（16地区、24回）</li> <li>・地域包括支援センター訪問時高齢者の生活現状、実態の把握と情報共有（随時）</li> <li>・住民型有償サービス定例会参加により高齢者の状況や地域の現状を把握（7団体）</li> </ul>
	地域課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区にてコーディネーターが公民館に週3回常駐となる（11時～15時）</li> <li>・地域福祉ネットワーク協議会会議の参加（4回）</li> <li>・地域ケア会議参加（6回）</li> <li>・タクシー事業者等民間事業者への聞き取りによりニーズを把握</li> <li>・三光地区の小地域ネットワーク会議への参加（11地区）</li> <li>・個別ケースに関わる中で、地域の現状と資源状況の確認、必要なサービスの検討</li> <li>・在宅医療・介護連携との連携</li> </ul>
	資源の状況の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山国・南部地区にて「“お宝探し”塾」開催により、地域の資源の整理・発掘及び取材  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;第1回&gt;9月26日 山国地区（23名）、南部地区（11名）</li> <li>&lt;第2回&gt;10月13日 山国地区（28名）、南部地区（13名）</li> <li>&lt;第3回&gt;12月8日 2地区合同発表会 山国地区（55名）、南部地区（9名）</li> </ul> </li> <li>講師 ご近所福祉クリエーター 酒井 保氏</li> <li>&lt;専門職向け学習会&gt;10月31日 参加者22名（行政・保健所・地域包括支援センター等）</li> <li>・地域の活動団体を取材し、広報紙へ掲載</li> </ul>
地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ	地域の団体への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員会議で有償サービスやコーディネーターの紹介</li> <li>・地区担当の地域包括支援センターとの連携</li> <li>・三光地区の小地域ネットワーク会議にて、住民型有償サービスの紹介と座談会への参加の呼びかけ</li> <li>・三光地区の自治委員会議にて、住民型有償サービスの紹介と三光での取り組みの経過の説明</li> <li>・担当地区外のネットワーク交流会に参加し、担当地区の寄り合いの場等の現状を紹介</li> </ul>
関係者のネットワーク化	新たな資源と既存の資源とをつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民型有償サービス団体と立ち上げ準備会との橋渡し・調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>①南部準備会へ沖代どんぐりサービスのマネージャー・会計が参加</li> <li>②三光地区の座談会に本耶馬溪ひまわりサービスのマネージャーが参加</li> <li>③沖代どんぐりサービス、北部えがおサービスの定例会に南部準備会のメンバーが参加</li> </ul> </li> <li>・山国地区にて「田舎困りごとサポーター」と住民型有償サービス団体、地域包括支援センター、社協との意見交換の機会を設ける</li> <li>・H29年度「支え合いスタッフ養成研修」受講者やサロン参加者と豊寿園の視察見学の実施</li> <li>・子育てサロンの子ども3名の託児をボランティアセンターへ依頼</li> </ul>
	多職種との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体として「生活支援・介護予防を考える会」を開催&lt;3回&gt;  H29年度テーマ：移動・外出支援について  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;第1回&gt; 9月22日（金） 参加者 37名</li> <li>&lt;第2回&gt; 12月4日（月） 参加者 33名</li> <li>&lt;第3回&gt;H30年3月8日（木） 参加者 29名</li> </ul> </li> <li>参加メンバー：タクシー会社、福祉タクシー、バス会社、住民型有償サービス団体、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、民生委員、シルバー人材センター、特別養護老人ホーム、市地域振興・広聴課</li> <li>・山国地区でのSOS声かけ訓練の実施に向けた準備・当日の運営等包括と協力して行う</li> <li>・地域包括支援センター社会福祉士部会への参加</li> <li>・地域包括支援センター職員と地域福祉ネットワーク協議会との連携調整</li> <li>・認知症地域支援推進員と住民型有償サービス・地域サロン関係者との連携調整</li> <li>・タクシー会社と市役所との協議の機会への参加</li> <li>・元気！いきいき☆週一体操立ち上げに向けて地域包括支援センターや地域の皆さんとの話し合い</li> <li>・福祉専門職、医療ソーシャルワーカー、住民型有償サービスの間をつなぐ</li> <li>・サロン関係者とサービス事業者、保健師との橋渡し</li> </ul>
	地域住民との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区の地域福祉ネットワーク協議会の運営委員会・役員会へ参加</li> <li>・耶馬溪地区「見守りネットワーク役員会」「見守りネットワーク拡大会議」への参加</li> </ul>
目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	意見交換による地域の姿の共有・意識の統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民型有償サービス団体立ち上げの準備会を通じ、今後の地域づくりや地域支援についての共通認識を図る（本耶馬溪・今津・三光・南部）</li> <li>・三光地区にて、小地域ネットワーク会議へ参加し、住民型有償サービスの理解を得る</li> <li>・シルバー人材センターと南部有償準備会のメンバーとで意見交換・情報共有の機会を持つ</li> <li>・山国・耶馬溪合同サロンの開催支援</li> </ul>

生活支援の担い手の養成やサービス開発	担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民型有償サービス「支え合いスタッフ養成研修」開催（2回×2カ所＝計4回） 南部会場：受講者28名（修了者25名） 三光・大幡会場：受講者35名（修了者26名） 研修内容：1日目 コミュニケーションについて、有償サービス・あんさんくの説明 2日目 認知症理解について、生活支援のポイント</li> <li>・あんさんく登録者数（累計数）：238名</li> <li>・住民型有償サービスマネージャー研修の実施 &lt;日程&gt;12月13日（水） &lt;研修先&gt;NPO法人中原たすけあいの会（佐賀県三養郡みやき町）</li> </ul>
	担い手に対する継続的な支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんさんく登録者への「フォローアップ研修」開催 受講者：49名 &lt;日程&gt;11月26日 &lt;講師&gt;中津市民病院副院長 本田医師</li> <li>・“お宝探し”塾での活動を広報等で普及啓発し、仲間づくりを行う</li> <li>・福祉ボランティア研修講座でサロン等で活用できるレクリエーションや体操の指導</li> <li>・山国地区地域福祉活動計画の推進会議に参加</li> </ul>
	担い手と活躍の場をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンと講師の調整・マッチング</li> </ul>
	担い手の状況確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民型有償サービス団体の月例会への参加し、スタッフ人数・支援内容・ケースの状況等確認（7団体・15回？）</li> <li>・住民型有償サービスネットワーク協議会への参加により、団体同士の連携や市内全体の状況の共通認識を図る（2回？）</li> </ul>
	サービス開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年5月より 本耶馬溪地区「住民型有償サービス本耶馬溪ひまわりサービス」発足</li> <li>・H29年8月より 今津地区「今津支え合いサービスすみれ」発足</li> <li>・本耶馬溪・今津地区での住民型有償サービス団体立ち上げに向けての話し合い（準備会）開催</li> <li>・H29年9月より三光地区での支え合い活動についての座談会開催（6回）</li> <li>・H29年9月より南部地区にて住民型有償サービスの立ち上げに向けての座談会・準備会開催（7回）</li> <li>・シニアほっと元気Station「よりあ」を沖代寄り合い所“すずめの家”にて開催（計46回、参加者数537名）</li> <li>「ミニミニクッキング」（3回）、理学療法士による介護予防講座（2回）、認知症地域支援推進員による相談会・学習会（4回）</li> <li>H30年1月より、手芸グループが独立</li> <li>・元気！いきいき☆週一体操 初回・定期の体力測定等への参加（包括と協力）</li> </ul>
ニーズとサービスのマッチング	個別ケースの調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎サービス希望者に対し、住民型有償サービスへつなぐ</li> </ul>
その他事業に関する業務	関係機関へのつなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協、住民型有償サービス、包括支援センター等各関係機関へつなぎ</li> <li>・地域包括支援センター管理者会議において、第1協議体設置についての説明</li> <li>・居宅連絡会にて事業の説明</li> <li>・サロン関係者研修会へ参加し、サロンの運営や現状等の把握をし、関係機関に伝える</li> </ul>
	コーディネーターとしての学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター間の情報共有・学習の機会を持つ</li> <li>・週一体操スキルアップ研修への参加</li> <li>・元気！いきいき☆週一体操教室 活動紹介及び筋力アップ体操普及講演会への参加</li> <li>・県主催の生活支援コーディネーター勉強会への参加</li> <li>・荻田町での“お宝探し”塾への参加</li> </ul>

#### 4) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいを目的として実施。

サポーター登録者数	707名
受入機関登録数	127カ所
評価ポイント内スタンプ数	15,814個

（高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等）

中津市福祉の里づくりサポーター事業情報誌「ふくサポ」発行 年2回 各264部発行

#### 5) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方（おねがい会員）と預かり等の援助を行う方（まかせて会員）との相互援助活動に関する相談援助・連絡調整を行う。

おねがい会員登録者数	83名	活動件数	119件
まかせて会員登録者数	85名	活動延時間数	256時間
両方会員	2名		

平成30年1月20日 ファミサポ会員交流会を開催 参加者 45名

## 6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

地域福祉の情報提供により、社会福祉協議会の事業紹介、福祉及びボランティア意識の育成並びに活動啓発のため広報紙を発行。

### 1) 社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
社協だより なかつ	3回	34,000部	全戸
社協だより なかつ(点字版)	3回	30部	市内視覚障がいの方

### 2) 地域福祉情報紙の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三光	とんぼのめ	4回	1,800部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	3回	1,500部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいふる	3回	1,800部	全戸、公共施設
山 国	かかし	8回	1,100部	全戸、公共施設

### 3) ボランティア情報紙の発行

名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	5,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

### 4) 福祉教育・福祉講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	目的・趣旨
1	地域福祉講座 第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画 研修会 ～だれもが安心して 生き生きと暮らせる まちをめざして～	1回	180名	平成29年3月に第3次中津市地域福祉計画・中津市地域福祉活動計画を策定しました。この計画づくりでは、市内全15地区で住民参加のワークショップを開催し、地域の課題を住民、関係団体、市が共有して、その解決のためにそれぞれどう取り組んでいくべきかを定めています。この中で、地域で取り組む目標や実践内容については、地区ごとに地域福祉活動計画として計画を立てていることから、平成29年度からの各地区での実践に向けて、地域住民のための研修会として開催しました。
2	地域福祉スキルアップ 講座 ～住民が福祉ネットワークをつくる意義とは！？～	1回	48名	第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進基盤となる「地域福祉ネットワーク協議会」について、第1次計画後から動き出している校区や現在、模索されている校区もありますが、今一度、住民が福祉ネットワークをつくる意義や必要性について学ぶ機会としたい。また、今後、地域福祉ネットワークに関わる方々の情報交換の場として繋げていくことを目的に開催しました。
3	地域福祉講座 「居場所づくり研修会」～世代や障がいを越えたつながり～	1回	50名	中津市内では、サロン活動や子ども食堂をはじめ、当事者同士の集まりなど、様々な住民主体の交流・つながりを通じた、居場所づくりが展開されている。各々に応じた居場所や「誰でも」「いつでも」「気軽に」立ち寄ることのできる居場所など、多様な居場所づくりが求められている中で、居場所づくりに関わる方々を対象に、「世代や障がいを越えたつながり」をテーマとして研修会を開催しました。

### 5) 事業所広報紙・新聞

広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
ウテリー だより	12回	110部	利用者の家族と公共の施設(山国地区)
なのはな便り	12回	110部	利用者の家族と公共の施設(耶馬溪地区)
ひなぎく	12回	75部	利用者の家族と公共の施設(本耶馬溪地区)
さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設(三光地区)
児童館だより	12回	650部	三光地区の小中学校と児童関係の施設

### 6) ホームページ

新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

## 7) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

### 【年度実績】

実施校数（校）	22校
年間開催回数（回）	53回
受講者数 児童生徒（人）	2,380人
受講者数 保護者（人）	186人

### 【コース別】

聴覚コース	14回
視覚コース	18回
肢体コース	11回
エルダーコース	10回
合計	53回

## 7. 法人組織体制の強化

### 1) 職員配置状況（所属別）

#### ①所属別

平成30年3月31日現在

単位：名

名称	正規	嘱託	臨時	非常勤	計
総務課	6	12	1	1	20
地域福祉課	23	5		1	29
福祉サービス課	4	1	6	41	52
在宅福祉課	36	4	25	91	156
豊寿園	10		3	14	27
やすらぎ荘	39	2	15	14	70
計	118	24	50	162	354

#### ②拠点別

単位：名

名称	正規	嘱託	臨時	非常勤	計
中津市教育福祉センター	14	7	1	1	23
養護老人ホーム豊寿園	10		3	14	27
三光福祉保健センター	13	9	7	20	49
三光生きがい支援センター			1	3	4
放課後児童クラブ（5か所）				18	18
本耶馬溪総合福祉センター	10	1	9	30	50
市本耶馬溪支所	4	1			5
特別養護老人ホームやすらぎ荘	39	2	15	14	70
耶馬溪デイサービスセンター他	16	2	5	35	58
耶馬溪生活支援ホーム			1	5	6
山国社会福祉センター	6	1	1	1	9
山国高齢者生活福祉センター	6	1	7	21	35
計	118	24	50	162	354

※兼任している職員は、主としている事業所に計上

### 2) 法人における各種会議や研修会

[会議・各部会の開催状況]

①課長会議	年 28 回	・看取り研修委員会	年 2 回	⑧福祉サービス課内会議・部会	
②経営会議	年 3 回	・すっきり委員会	年 4 回	・居住部会	年 2 回
③衛生委員会	年 11 回	・接遇委員会	年 3 回	⑨豊寿園内会議・委員会	
④エリア会議	年 45 回	・喀痰吸引委員会	年 12 回	・事故防止委員会	年 10 回
⑤係長会議	年 3 回	⑦在宅福祉課内会議・部会		・感染症対策委員会	年 9 回
		・生きがい通所介護部会	年 5 回	・各種運営委員会	年 18 回
⑥やすらぎ荘内会議・委員会		・機能訓練専門部会	年 8 回	・支援員会議	年 14 回
・やすらぎ運営会議	年 12 回	・訪問入浴部会	年 1 回	・献立委員会	年 12 回
・高齢者虐待防止委員会	年 4 回	・居宅介護支援部会	年 4 回	・ケース会議	年 21 回
・QOL生活向上委員会	年 6 回	・通所介護部会	年 6 回	・職員会議	年 12 回
・身体拘束未然防止委員会	年 12 回	・訪問介護部会	年 3 回		
・感染症防止委員会	年 3 回	・通所相談員部会	年 2 回	⑩実習担当委員会	なし
・事故防止委員会	年 4 回	・通所看護職部会	年 2 回	⑪実習指導部会	なし
・褥瘡防止委員会	年 4 回	・通所介護職部会（新規）	年 2 回		
		・調理部会	年 5 回		

（実習生受け入れ人数：なし）

## 8. 各種地域福祉事業

### 1) 葬祭壇貸出事業

葬祭具の貸出を実施

【貸出件数】

23件

耶馬溪	10件
山国	13件

### 2) 祝金婚記念品贈呈事業

平成29年度に金婚を迎えた夫婦に対して、記念写真及び額を贈呈。

(校区)

南部	4件	大幡	5件	本耶馬溪	6件
北部	3件	如水	4件	耶馬溪	6件
豊田	1件	三保	4件	山国	6件
沖代	2件	和田	1件		
小楠	4件	今津	6件	合計	63件
鶴居	7件	三光	4件		

### 3) 児童館事業 (三光)

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもの健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

開館日数 261 日

児童館利用者数 11,715名

就学前児童	811名
小学生	9,539名
中高生	397名
保護者・ボランティア	968名

平成29年7月10日 (月) 三光児童館運営協議会 委員全員出席 (9名)

平成29年8月21日 (月) 三光児童館20周年記念行事開催 参加者 181名

(広報誌) 「三光児童館だより」 毎月 各650部発行

「児童館だより～三光子育てサロン～」 毎月 各20部発行

### 4) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品 (介護用品) を贈呈。

(校区)

南部	11件	大幡	9件	本耶馬溪	15件
北部	14件	如水	8件	耶馬溪	3件
豊田	8件	三保	2件	山国	10件
沖代	17件	和田	5件		
小楠	7件	今津	9件	合計	158件
鶴居	23件	三光	17件		

### 5) 障がい者ミニデイ支援 (鈴の音)

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

開催日数 11 日

実利用者数 13 名 延利用者数 110 名

実登録者ボランティア数 11 名 延参加者数 100 名

### 6) 安心生活支援事業 (買い物支援事業 : 山国)

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して、訪問聞き取り調査を行い、その結果から「買い物したいが移動手段が無い」等の意見があり、見守りを兼ねた買い物支援事業を立ち上げ、平成23年11月から事業開始。

協力登録店舗	10店舗
利用登録会員	31名
実利用者数	13名
買い物配達回数	283件
買い物支援を行った販売金額	659,523円
買い物サロン (買い物バス支援)	0回

\* 1回当たりの平均購入額 2,330円

## 9. ボランティア市民活動センター事業

### 1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談 200件

②夏のボランティア体験月間

市内の中高大学生を中心に、市内の施設等で福祉体験学習を実施。

(体験参加者数) 207名 (実施期間)平成 29年 7月21日 ～ 8月31日

一般	2名
大学・専門学校生	9名
高校生	142名
小・中学生	54名

(受入施設) 35 ヶ所

③春のボランティア体験

(体験参加者数) 62名 (実施期間) 平成29年 3月1日 ～ 4月上旬

一般	2名
大学・専門学校生	6名
高校生	54名
小・中学生	なし

(受入施設) 16 ヶ所

④市社協指定ボランティア推進校 11 校

⑤ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 3,624 名

⑥ボランティア登録状況

社協登録のボランティアグループ・個人登録 (各種講座及び研修会の案内、連絡調整他)

地区	団体会員数	団体数
中津	2,820名	83団体
三光	133名	10団体
本耶馬溪	117名	6団体
耶馬溪	226名	10団体
山国	252名	15団体
給食団体	528名	37団体
計	4,076名	161団体

個人登録 913 名

⑦ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指す目的として、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

期日	協議内容
平成29年9月30日	①前年度のセンターの運営と取り組み状況について ②年間スケジュールについて ③ボランティア講座の対象や内容について
平成30年1月22日	①ボランティア登録基準について ②ボランティア情報紙「ぺんぎん」について (広報の視点など)

## 10. その他社協事業

### 1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の円滑化と福祉充実を図るための福祉バスの運行事業。

運行回数 140 回 延利用者数 3,554 名

### 2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、災害 (火災、風水害) により家屋が損害を受けた世帯に対して、見舞金を支給。

火災 5 件 水害 13 件

### 3) 施設等管理運営事業

No	施設名	開設日数	延利用者数
1	中津市教育福祉センター	308日	38,338名
2	三光福祉保健センター	307日	9,743名
3	本耶馬溪総合福祉センター管理棟	243日	565名
4	耶馬溪介護研修センター	243日	156名
5	すぱーく耶馬溪多目的広場	269日	1,037名

### 4) 災害による被災世帯への支援

#### ①平成29年7月北部九州豪雨災害への対応

ア. 被災者支援のためのボランティア派遣と職員派遣

平成29年7月5日に発生した豪雨により被災した主に山国地区と耶馬溪地区の世帯へ災害ボランティアへの派遣業務を7月10日から7月27日まで行った。また、地域復興支援として田畑の水路の土砂撤去を行うボランティアを募集し、市役所山国支所、耶馬溪支所と連携して支援を行った。

○活動件数 45件                      ○活動者数 延べ 399名

7月29日からは、日田市社会福祉協議会へ災害ボランティアセンター運営支援に係る職員派遣（「大分県市町村社会福祉協議会災害時相互応援協定」により派遣）を行い、主に本部や大鶴サテライトでのセンター運営支援、ニーズ調査にあたった。

○日田市への職員派遣日数 12日 延べ34名

イ. 義援金、支援金窓口設置と支援

被災者への義援金と支援者への支援金の受入れを行い、被災された世帯へ義援金を支給した。

単位：円

収入実績		支出実績	
義援金	230,993	義援金（半壊以上5件）	150,000
支援金	60,000	義援金（床上浸水8件）	80,000
		支援金（ボランティア資材）	60,993
収入計	290,993	支出計	290,993

#### ②平成29年9月台風18号災害による津久見市及び臼杵市への支援

ア. 被災者支援のためのボランティア派遣と職員派遣

平成29年9月17日に甚大な被害を受けた津久見市へ災害時相互応援協定により、9月20日から津久見市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣と、中津市からのボランティアバスを運行。また、臼杵市社会福祉協議会へはスコップや一輪車などの資材の貸し出しなどを行った。

○津久見市への職員派遣日数 31日 延べ 108名

○ボランティアバスの運行

日にち	参加者	内 容
10月14日（土）	33名	豊寿園入所者の生きがい活動（小物販売等）で得た収益金を社会貢献活動として運行
11月3日（金）	10名	一般、社協運行
11月4日（土）	10名	一般、社協運行
11月5日（日）	8名	一般、社協運行

## 11、各種共催・後援状況、視察受入、協力

### 1) 共催状況

暫定

No	開催期間	行 事 名	共 催 者 名
1	H30. 3. 17	災害ボランティア養成講座 ～避難所運営訓練～	中津市

## 2) 後援状況

No.	開催期間	行 事 名	主 催 者 名
1	H29. 10. 21	2017年度 県北地区福祉のしごと就職フェア	大分県福祉人材センター
2	H29. 12. 3	平成29年度大分県「障がい者週間」福祉大会北部大会	大分県障害者社会参加推進協議会
3	H29. 12. 3	朗読コンサート杜の声	朗読サークル杜の声
4	H29. 12. 17	ハンドベル結成10周年記念コンサート	ベルみゆうず
5	H29. 12. 17	脳がピカピカ集いの会	歌の会

## 3) 視察の受入れ、協力状況

No.	年月日	県等	受入先	受入数	視察内容
1	H29. 5. 15	福岡県	苅田町民児協・社会福祉協議会	15名	地域福祉活動・ネットワーク協議会について
2	H29. 5. 19	市内	沖代校区民生委員児童委員協議会	8名	豊寿園視察
3	H29. 5. 24	市内	鶴居校区民生委員児童委員協議会	15名	豊寿園視察
4	H29. 5. 26	市内	如水校区民生委員児童委員協議会	10名	豊寿園視察
5	H29. 6. 13	市内	中津市議会（厚生委員会）	6名	豊寿園視察
6	H29. 8. 22	大分県	大分市明治校区社協	40名	地域福祉活動について
7	H29. 8. 24	市内	大幡校区民生委員児童委員協議会	13名	豊寿園視察
8	H29. 9. 5	佐賀市	西与賀校区関係者	27名	地域福祉活動・すずめの家について
9	H29. 9. 7	鹿児島	薩摩川内市社会福祉協議会	9名	生活支援体制整備事業について
		福岡県	行橋市役所	4名	
10	H29. 9. 8	鹿児島	薩摩川内市社会福祉協議会	9名	沖代地区における活動について・すずめの家
11	H29. 9. 22	宮崎県	社会福祉法人慶明会	4名	中津市社協全般及び地域福祉活動について
12	H29. 11. 9	大分県	日田市西有田地区社会福祉協議会	25名	地域福祉活動・すずめの家について
13	H29. 11. 10	北海道	音更町議会	6名	住民型有償サービスについて
14	H29. 10. 13	福岡県	行橋市北校区を良くする会	20名	地域福祉活動・すずめの家について
15	H29. 12. 7	北海道	北星学園大学福祉学部教授	2名	地域福祉活動・すずめの家について
16	H29. 12. 21	福岡県	久留米市社会福祉協議会	5名	地域福祉計画・活動計画について
17	H30. 1. 23	大分県	竹田市 市役所・経済活性化協議会・社協・包括	18名	地域福祉活動・沖代すずめ・生活支援体制整備事業について
		福岡県	大牟田市役所	3名	
18	H30. 2. 5	福岡県	うきは市議会	9名	住民型有償サービスについて
19	H30. 2. 22	大分県	杵築市役所	5名	住民型有償サービスについて
20	H30. 2. 23	別府市	鶴見地区民生委員等	40名	豊寿園視察
21	H30. 3. 13	国	厚生労働省社会・援護局 自立支援企画調整官	1名	地域共生社会について

合計 290名